

モスル作戦：中世的虐殺

【訳者注】アメリカによる戦争での「市民の苦悶やトラウマに対する軽蔑」という言い方が、おそらくアメリカ軍と連合軍の根底にある“敵”への感情を、最もよく言い表している。彼らは“敵”に恨みや憎しみがあるわけではない。最初から相手が人間以下であるがゆえに、感情をもたないのである。NWOによる究極の人種差別。こんな言葉の選択にも、彼らの戦争の本質を感じることができる。ロシアやシリアとは歴然と違うことが、ここに対比されて述べられている。(メディアは全く逆のことを言っている。)モスルやイエメンの非戦闘員にとっても、ロシアやシリアにとっても、戦っている相手は、中世の野蛮や残虐に輪をかけた、サイコパス・ペドフィリア軍およびその援軍の西側メディアである。

Stephen Lendman

March 27, 2017, Information Clearing House



(ICHによってこの記事に埋め込まれたこのビデオ—閲覧注意—は、オリジナル版にはなかったものである)

ロシア外務省の報道官マリア・ザハロワは、米軍主導のテロ爆撃とイラク軍の地上作戦が、昨年10月に始まってから数週後に——今起こっている最悪の恐怖劇のずっと前に——それを次のように説明した。

いくつかのアメリカの統制する作戦が、“完全な情報遮断の条件”の下で、いま行われている、とザハロワは説明した。

市民を保護するとか、疎開させるとか、その他のやり方で彼らを助ける措置は、何ひとつ取られなかった。市民たちは昨10月以来、人道的またどんな他の援助も、彼らの保護や安全のための考慮も与えられず、危害にさらされ放置されている。

何十万という人々がこの都市に閉じ込められている。脱出しようとする人たちは命を覚悟の上である。アメリカのテロ爆撃によって危険なのはISIS戦闘員と同じである。

アレッポ奪還戦のとき、ロシアとシリアは——国連や他の国からの援助もなしに——人道

的回廊を設けた。市民の死傷者を避けるために多大の注意が払われたが、それが、この都市を完全に解放するのにあれほど時間がかかった理由である。

モスクワは、12月下旬、アレッポ奪還戦に勝利するだいぶ前の2016年10月に、空からの作戦を中止した。

西側とそれを支持するメディアは、この英雄的な、レニングラードの時のような解放戦を、恥ずかしくも、明らかな侵略だと説明した。

彼らはモスルでの強姦や破壊については、ほとんど沈黙している。間違っても報道されているものは、解放の様子である。アメリカのテロ爆撃による大量虐殺については、何ひとつ報道されていない。現実の事態の統制された隠ぺいが続いている。

危害にさらされた絶望状態の市民に対して、いかなる援助も差し出されていない。何か月もの戦闘の間に、おそらく何千人の人々が殺され、無数の人々が負傷し、何十万人が住処を追われている——無差別のアメリカのテロ爆撃と地上軍の銃火によって。

西側メディアは沈黙によって共謀しているが、まれな例外もある。3月23日、ロンドンのインデペンデンス紙は、地方のメディア・ソースを引用し、木曜日のモスル空爆は“230”人の市民の死をもたらしたと報じた。<http://www.independent.co.uk/news/world/middle-east/us-air-strikes-mosul-230-civilians-killed-dead-isis-held-iraq-battle-islamic-state-a7646011.html>

「北イラクで活動するクルド人の新しいニュース局である **Rudaw** のある特派員は、137人の人々——ほとんどが一般市民と思われる——が、木曜日、モスルの西部地区アルジャディダの、たった1つのビルへの爆撃によって、死んだと報じている。」

「それとは別に近くで100人が殺された。死者の一部は、自宅内の防空壕にいたものだ」と、クルド人ジャーナリストの **Hevidar Ahmedha** は、虐殺の現場から報道した。

RTの報道によると、アメリカのテロ攻撃によって、130名以上の市民が、モスルで一晩のうちに虐殺された。死体が瓦礫の下から引き出されているが、これは時間のかかる、大変な仕事だ。<https://www.rt.com/news/382111-mosul-airstrike-130-shelter/>

ある地方の目撃者によると——

「この近辺の人々全員が、ミサイル攻撃から逃げる途中で、ここに避難していたのだった。私は、これがシェルターなのかどうか知らなかった。私は、我々がそこへ逃げてはいけないことを知らなかった。私の家族全員、27人がその中にいる。我々はたった一人を引き出しただけで、残りの者のことは知らない。そう、彼は死んでいた。」

あらゆる戦争で最も被害を受けるのは市民である。モスルや、他のアメリカの戦争舞台における、**市民の苦悶やトラウマに対する軽蔑**が、彼らの絶望を形成している。

生き残ることが毎日の闘争である。多くはうまくいかない。他の者は一生の傷を負う。